

◇ 春から梅雨へ ◇

今日から5月となりました。この季節は、肌寒い日も多かった春も中盤となり、エアコンの要らない一年でもっとも過ごし易い時季でもあります。

この5月は、晴天も多く空気が最も乾燥する時期でもあり、住宅のリフォーム工事などを行なう季節としては、絶好と言えるでしょう。

「ファースの家」にお住まいのお施主様は、気候が良い時は窓を大きく開けて自然の空気を存分に取り込んで全く問題ない時季でもあります。

「ファースの家」でない一般の住宅では、床下環境を整える時でもあります。「ファースの家」に設置されていない床下換気口ですが、一般住宅はその状態をチェックし、開閉式の場合、大きく開けて床下通気を促す必要があります。

土間コンクリートなどの防湿対策を行っていない一般の家は、建築基準法で設置が義務付けされている「床下換気口」です。床下換気口がゴミ等で塞がっていると、家の寿命にも大きく関わります。

この時季に換気口のチェックをしっかりと行なうべきです。

◇梅雨に向けて

梅雨時は雨も多く、気温も上昇して高温多湿の状態となり、とても不快な時期を向かえる事になります。このような時季の生活環境の悪化を防ぐためにも、しっかりと「湿気対策」を行なわなければなりません。

湿気による問題と言えば「カビ」ですが、「カビ」は水回りを中心に住まいの至る所に発生する可能性があります。結露やダニなどの発生、押し入れ内の臭い、タンス後ろのシミなどの原因は、その多くが湿気原因のようです。

◇ 換気部材・エアコンのメンテナンス ◇

2003年7月に24時間換気が義務化となり、それ以降に建てられた住宅は必ず機械等で換気を行っております。そのため換気機器は、24時間稼働させる必要があります。

稼働機器には、室外から空気を取り入れる給気口部分や機器本体に、汚れた空気をそのまま室内へ入れない為の『フィルター』が設置されております。

フィルターは定期的なメンテナンスが必要であり、メンテナンスを怠ると、目詰まりなどを起こし、換気扇本来の性能を発揮することができなくなります。

◇全熱交換式換気扇

「ファースの家」には全熱交換式換気扇が標準装備されております。全熱交換式換気扇の機能は外部の温度を室内の温度に近づけて換気する機能と湿度を室内の湿度に近づけて換気をする機能も有しております。

フィルターが目詰まりを起こすと温度交換率・湿度交換率が本来の性能を発揮することが出来ない場合や、モーターへの負荷が増え消費電力が大きくなってしまふこともあります。梅雨対策、そして夏場に向けて換気扇のメンテナンスを行うことは、電気代・省エネにも有効的です。

設置されている機器には、メーカー毎にメンテナンス期間の目安を公表しており、機種ごとに確認の上、メンテナンス（清掃）を行って下さい。

設置されているフィルターによって清掃方法は様々で、水洗いできるもの、出来ないものなどがあります。また、メンテナンス期間の目安が比較的、短くこまめにメンテナンスする必要があるものもあります。

◇エアコンのフィルター

エアコンのフィルターは、こまめに掃除しないと埃がたまり、目詰まりを起こしたままにして放っておくと稼働負荷が増えるだけでなく、冷暖房の効果・除湿能力を弱め、電気代が増大します。フィルターを掃除して、冷暖房の効率を本来の性能に戻し、電気代の無駄をカットしましょう。

(著・研究開発室 藤木幸太)

幸太の知恵袋

手に付いた魚のにおいを取る

釣りに行ったのかい。まあ、大漁だねえ。
魚釣りをしたり、魚をさばいた時に、手に生臭いにおいが付いちゃうと、洗ってもなかなか取れないんだよねえ。
そんなときは、アルカリイオン飲料水で洗い流すといいんだって。
アルカリイオン飲料水はスーパーやコンビニでも簡単に手に入るから、使ってみよう。
釣りに行くときには、ペットボトル1本持って行けば、飲み水にもなって都合がいいよね。

建築情報や知識は、ファース本部公式サイトで!



ファースの家

検索

